




2021-22 三春ロータリークラブ テーマ
わくわく・ドキドキの三春ロータリー

Rotary 

Program

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング「我等の生業」
3. 四つのテストの唱和
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 各委員会報告・その他連絡事項
7. 会員卓話
佐久間 英一さん 三瓶 一壽さん
8. 閉会点鐘

朝の三春駅ホーム (2021年10月4日)

令和3年11月4日 (木) 12:30～ 場所：割烹 八文字屋

会員卓話例会

 会長挨拶 山口 晋司



本日の
昼食




皆さまこんにちは。昨日2日に三春交流館「まほら」において三春町功労者表彰があり、三春ロータリークラブへの感謝状贈呈があり参加させていただきました。

当クラブは増子博保さんが会長だった2015-16年度に三春小学校への楽器寄贈が決まり補助金申請が行なわれ、翌年橋本紀子さんが会長だった2016-17年度に三春小学校へはコントラバスを二台寄贈。2018-19年度、石川和広さんが会長時には岩江小学校へ電子黒板、さらに19-20年度は沢石小学校、20-21年度、山口進さんが会長の時は御木沢小・中郷小・中妻小と町内6校へ、必要とされる物の寄贈をおこなってきて、そこが今回の表彰になりました。

三春ロータリーはこの他、各種スポーツ大会の開催、楽器の収集しての海外への支援、会員数が少ないですが県内でも凄い内容を普通にこなしている、少数精鋭のクラブだと思っています。

今年度もまた新たな事業として、図書収集による子供達の識字率向上の取り組みも始まろうとしておりますが、様々な皆さんに喜んでもらえ、会員の皆さん一人一人が主役で笑顔が絶えない三春ロータリーになれば最高だと思っています。

今月は私が入会させてもらってからでは、初めての夜例会で「郡山」です。非常に楽しみです。ご清聴ありがとうございました。

 幹事報告 宗像 俊樹

1. 地区大会 (YouTube同時配信)

日時:11月7日(日) ※各クラブ 会長・幹事のみ参加
12:00登録開始 13:00開会～16:30
配信用YouTubeアドレス
<https://youtu.be/GqmGIPdA5hE>



2. 県中分区 青少年奉仕会議(オンライン)

日時:11月28日(日) 14:00～15:50(13:30登録開始)
内容:(公演)「SDGs・・・今私たちにできることは」
参加対象:県中分区クラブ会員・インターアクトクラブ



 会員卓話 佐久間 英一さん

● 世界で地域でよいことをしよう (ロータリー財団の標語)

* 誇りをもって活動しよう

1945年10月(日本敗戦2か月後)にサンフランシスコで開催された国際連合の準備会に米国国務省が国際ロータリーに対してオブザーバーを要請され国連憲章の原案作成に参加。1979年ポリオ撲滅運動事業計画採択。フィリピン児童600万人にポリオワクチン投与5か年計画の開始。1960年日本でも6500人発病
旧ソ連、カナダから緊急ワクチン輸入。



● 地球温暖化防止について日本のエネルギー資源を考える

* なぜ今エネルギーか

司馬遼太郎が語る日本(未公開講演録)「鉄と日本史」を読んで日本の木材の成長性に感謝する。

日本に鉄が3世紀の終わりごろ中国、朝鮮半島から輸入品として少しずつ入り古墳時代ですか、土木時代ともいわれ、大小の古墳をつくるための土木道具が必要でした。

日本で砂鉄から鉄が生産されたのが7世紀くらいからしかし中国、朝鮮とも山は丸裸でした、タタラですが砂鉄から鉄を作るグループのことですがタタラとは輪(ふいご)の事、山に住みついて山をを食いつぶす、山に復元力がなく、木炭欲しさに国境などおかまいなし、そして日本の山を求めて出雲に来たものと思われま

す。日本は恵まれており大体30年ぐらいで山が戻るといわれています。

ヨーロッパ人はこのような急傾斜の河川がなぜ川の流れが緩いのか、不思議がったといわれました。以前研修で縄文時代の方々の価値観のたかい考えから山の険しい、火山灰だらけ、急こう配の日本列島を未来の方々のためにコツコツと植林の結果今の日本があるのです。

木々がしっかりと根付き、水を含み、保水力のある山々がダム役割ができており川の水量を調整しているものと考えられていました。

● 21世紀の世界の6大問題

- ・人口問題(1945年前から70年で3倍、70億人) ・食糧問題 ・環境問題 ・資源問題
- ・エネルギー問題(40億人分しかない石油40年、ウラン70年で枯渇日本1人1日5リットルの石油、電気の半分は火力、エネルギーの96%は輸入、風力発電(1本の大型風力で大きな環境協力)北海道、東北有力、送電線不足、デンマーク40%、ポルトガルスペインアイルランドギリシャドイツは15%日本2.9%
- ・水問題

● 日本の地球温暖化防止の切り札は

- ・再生可能エネルギー(日本は自然エネルギーのポテンシャルがある)
- ・風力エネルギー ・太陽エネルギー ・バイオマスエネルギー ・水力・地熱・海洋エネルギー

今は過渡期ですから天然ガスとか原子力を使っていますが、いずれ農業、つまり食料を栽培して生き延びたようにエネルギーも栽培するという発想する。これがまさに自然エネルギーということ持続可能な社会。掘り出して終わって環境を汚染する。持続可能ですか、それはないと思います。やはりこれからの子供たちのためにずっと残ってゆく、平和にやってゆける、外に向かってではなく内を見ればいくらでもあるんだ。これをつかえばいくらでもやれるじゃないか。それはまさに持続可能な社会ではないでしょうか。





● 会員卓話 三瓶 一壽さん



百杯宴

● 百杯宴淵の金魚

私は毎朝コーヒーをもってじゃじゃ丸(愛犬)と共に夫婦で散歩しています。これをもう16年近く続けています。(皆様にも朝、お会いすることもありましたね！)



- 今年のある5月末の朝にいつものコースである桜川「百杯宴淵」を通った時に、真っ赤な鮮やかな色をした2尾の金魚に気づきました。

いったい誰がこんなところに、と色々この金魚の存在について思いを巡らしました。

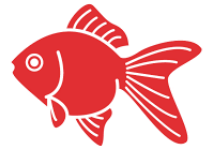
この金魚は、「水槽の金魚から桜川淵の金魚」へと突然に生活環境が変化したのです。

この金魚は私に色々妄想させてくれました。

次の日も、そのまた次の日も。。。とにかく目立つ色なので、いつ野鳥などの餌食になってしまうのか心配しました。でも今日も元気に淵を泳ぎ廻る姿を見て、少しホッとしました。

<妄想・その1>..金魚の世界観ってどんなだろう？

- ・ヒトは生まれたばかりの時は、母親、父親そして家族のいる家その環境です。
- ・やがて自分で歩けるようになると家の中から家周辺を自分の世界として認識する。
- ・幼稚園や学校に進むとその世界観はぐっと広がる。
- ・高校生になると実際に日本中を歩けるし、日本中を実感として知ることが出来る。
- ・大学・社会人になると世界を知り、グローバルな行動をするようになる。



人間はしぜんに「ふるさと愛、母国愛」が体にしみ込んでいるが、このふるさと愛、母国愛が世界中でグローバルな活動をする人にとっては重要と考えます。

このことは経験則から身につくことでもありますが、教育の力も大変大きいと思います。

宗像幹事さん三春の教育は大丈夫ですか？

さて、話を川淵の金魚に戻りますが、ある日突然に水槽(シェルター)から自然界に放たれた2尾の金魚。世界は一変！(皆さんはどちらの環境が幸せでしょうか。)この川淵を泳ぎ廻って何を思っているのでしょうか。金魚もそのうちに世界観を広げた様子で、いつの間にかその淵の一段上に移っていました。(コイの滝登りのごとくに)

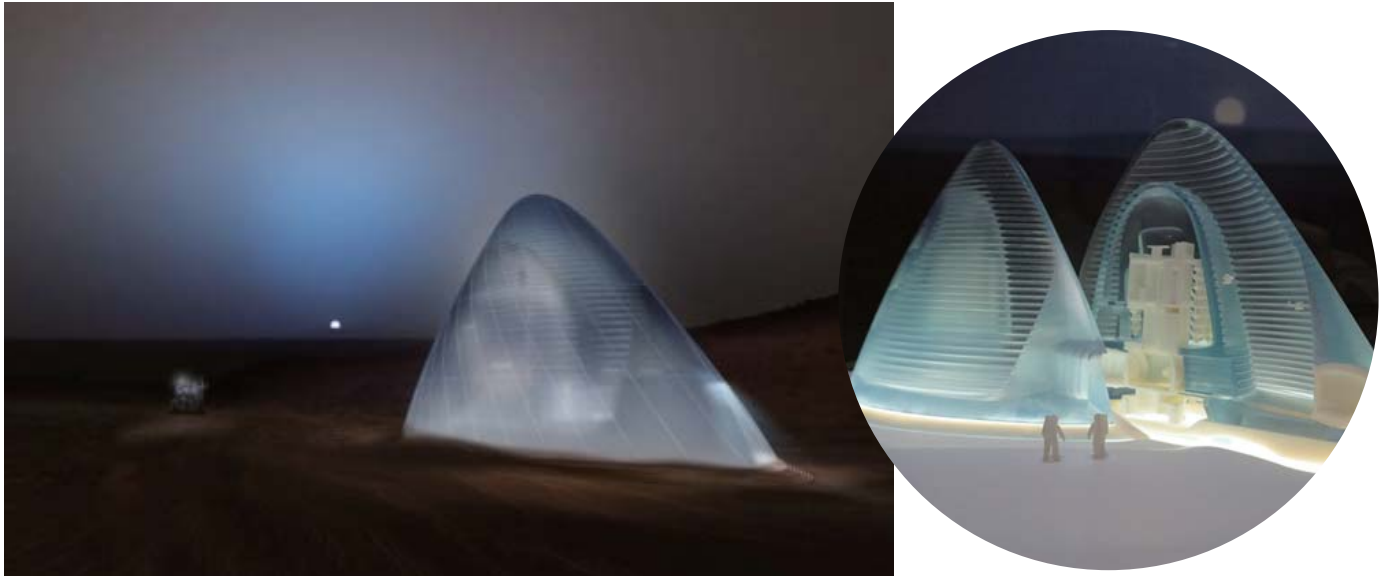
この金魚たちからすれば、自らの意思で大きく世界観を広げた瞬間なのかもしれません。



 会員卓話 三瓶 一壽さん

<妄想・その2>・・・人間は今、世界観を宇宙へ広げている。

- 人間は活動の範囲を地球外へ広げようとしています。地上約400Km上空のISS(国際宇宙ステーション)での様々な活動から、その居住域を月へ、そして火星へと広げようとしています。実際に近年、火星居住構想の一つとして、NASA主催のコンペに「マーズ・アイス・ハウス」が日本人若手建築家と宇宙研究者のチームから提案されております。



NASAが開催したコンペで優勝した「マーズ・アイス・ハウス」と呼ばれる住居デザイン。壁は火星の氷でできている。(Team Space Exploration Architecture/Clouds Architecture/NASA)

- このように日進月歩の宇宙時代に人間が大事にすべきものとは、近未来には「美しいふるさと地球」と呼ぶ時代がもう眼前に迫っており、この地球を誇りに思うことかもしれません。
- この地球は奇跡ともいわれるほどに、非常に繊細なバランスで生物が生存可能なちょうどいい状態に保たれている、正に奇跡の星です。
- この地球バランスを急激に変えた要因としては自然界の諸現象(巨大隕石の衝突や地殻変動など)そして現在最大の要因は人間の営みによるものです。汚染物質の排出によるオゾン層破壊やCO2排出による地球温暖化による諸所の現象(自然破壊)です。また、3.11でも私どもが経験したような災禍、原子力発電も大変危ういと思います。

また金魚の話に戻りますが、7月に入ったころ2尾の金魚が1尾ななっておりました。鳥やイタチなどに捕食されたのか、それとも第三の世界へ向けて旅立ったのかは定かではありません。

最後に、人間もこの金魚の様な運命を辿らない為にはSustainable action「持続可能な行動」をとる事です。そうです。『SDG's』でもこれって簡単なことではありません。決して一時の流行だけであってはいけないのです。『不易流行』の心を持つ必要があるのだと思います。

